

神野哲夫先生 追悼文



藤田医科大学ばんたね病院
脳神経外科 教授
加藤庸子



この度、藤田医科大学医学部脳神経外科 名誉教授であり本学会の **Founding and Honorary President** でもある神野哲夫先生が本年8月6日早朝ご逝去されました。

81歳でした。脳神経外科の患者様にとり身体や高次機能障害治療が社会復帰に向けた大きな鍵となるため、神野先生は本学会の必要性を早くから察知され、本学会前理事長の才藤栄一先生ら力を会わせ、設立されました。

また国際化に向けても、海外との交流を展開されこの分野のエキスパートであられる Klaus Von Wild 先生らをお招きするなど、海外でのニューロリハビリをいち早く学び取り入れられました。また現理事長の近藤和泉先生の見事なリーダーシップにより最先端ロボット工学を導入されるなど、本学会の計り知れない発展を亡き神野先生は期待されておりました。



神野先生と Wild 先生

神野哲夫先生は、1940年4月9日に三重県でお生まれになり、わずか1歳のころにお父上様を戦争で亡くし、母一人、子一人で、慶応義塾大学医学部へ入学されました。

藤田学園の総長 藤田啓介先生の陣頭指揮のもと、神野先生は藤田保健衛生大学医学部脳神経外科の初代教授として30代後半で初代教授に就任されてからは、不眠不休状態で外来患者様を徐々に増やし数名しかいなかった時代から200名まで一気に数を増やし、徹底的な患者様第一主義の人生を送られました。



教授室を訪れた母とともに

もう一人、本書を亡き母に捧ぐ

お母様と教授室にて

赤髭的目線で、想像を絶するスタミナと多くの国内外の若手脳神経外科医の教育に人生を投じ、かつ人生を謳歌しながら駆け抜られました。

発展途上国からの留学生医師・看護師を積極的に受け入れ500名以上にも及ぶ留学生同窓生を輩出しました。現在ではその大半が

母国での教授や看護長に就任され、世界のリーダーとして活躍されています。

藤田保健衛生大学脳神経外科教授、救命救急センター長、病院長を務める傍ら、海外、特に発展途上国への教育活動を熱心につづけてこられました。

先生の人生を我々弟子として垣間見ることで、一人でも多くの患者様の治療、目標を高く掲げ、最善の道を選



教授就任間もない頃（教授室にて）

ぶ。患者様の心に空いた大きな穴を即刻埋めるなど数々の指導を体得しました。



慶應高校のバレーボール部

大変多くの偉業と功績を残され、我々教室員の進むべき道を開いていただいた神野哲夫先生には心より敬意を表すると共に、安らかなるご冥福をお祈りいたします。



病棟にて



海外とのテレカンファレンスにて



救命救急センター長を兼任していたころのセンターの回診

【経歴】

藤田医科大学名誉教授

世界脳神経外科学会終身名誉会長

アジア脳外科コンgres名管理事長

国際医療連携機構（JIMCO）名管理事長

ジャパン藤脳クリニック名誉院長

【受賞歴】

慶應義塾大学三四会賞

慶應義塾大学刀林会賞

アメリカ脳神経外科コンgresより Founder's Laurel（創立者栄誉賞）

アジア脳神経外科学会より Lifetime Achievement Award

第44回医療功労賞（海外部門）など多数受賞

インド脳神経外科、Personality of the decade

アジア脳外科コンgres創立者栄誉賞

【創立した学会等】

アジア脳外科コンgres

日本意識障害学会

日本脳腫瘍の外科学会

Fujita 脳卒中友の会

国際医療連携機構(JIMCO)



The 3rd ACNS Nov. 5-9, 2000 Nagoya Marriott Associa Hotel, Japan



Bangladesh の病院訪問にて